

# 会 議 録

会議の名称	浦幌町模範牧場指定管理者選定委員会	
事務局 (担当部署)	まちづくり政策課まちづくり推進係	
開催日時	平成31年1月22日(火) 13時30分～15時	
開催場所	役場3階大会議室	
出席者	委員：鈴木委員長、後條委員、伊藤委員、山田委員、高木委員、 菊地委員、泉委員、獅子原委員、山本委員、鈴木委員 説明員：岡崎産業課長、坂下産業課参事 事務局：小林まちづくり政策課長補佐、川上まちづくり推進係長、部 田主事	
欠席者	なし	
	会議次第	会議結果
1 開会 2 委員長あいさつ 3 議題 (1) 申請結果 (2) プレゼンテーション及びヒアリング  (3) 評価及び指定管理者候補者の選定 4 その他		報告 応募事業者よりプレゼン テーション及びヒアリン グを実施 株式会社希興を候補者と して選定

審 議 の 概 要	
別紙のとおり	
会議録の公開期日	平成32年3月31日まで

## 審 議 の 概 要

### ■開 会

- 事務局 ただ今から、浦幌町模範牧場に係る指定管理者選定委員会を開催いたします。始めに委員長からご挨拶をさせていただきます。
- 委員長 委員の皆様には、本日の指定管理者選定委員会におかれまして、ご多忙の中ご出席賜りまして誠にありがとうございます。本日は申請者からのプレゼンテーションによる説明を受け、その中で質疑を通して最終的には選定に当たっていただくということになりますので、よろしくお願いいたします。

### ■議題（１）申請結果

- 事務局 （資料に基づき説明）
- 委 員 （質疑等なし）

### 議題（２）プレゼンテーション及びヒアリング

- 申請者 （株式会社希興よりプレゼンテーション）
- 委 員 今現在、最大受入れ可能な頭数はどのくらいですか。
- 申請者 夏は750頭、冬で600頭程度です。哺育牛が100～150頭くらいです。
- 委 員 それ以上増やすのは難しいのですか。
- 申請者 今提出している過去の書類では、冬に800頭くらい入れたこともございます。
- 委 員 稼働率が100%だということですが、今の施設は結構古くなった施設もあると思います。今後これを継続していく中で、施設の更新について、現指定管理者の希興さんから町に要望することがあれば聞きたいのですが。
- 申請者 今たくさんのご利用をいただいておりますが、実際、現在入れられなくて待っている状態もございます。それでご迷惑をかけている点がございまして、そういう点を踏まえすと、施設を拡充した方が、農家さんの希望に応えられると思いますが、役場さんの土地でするので私どもが何かを建てるわけにはいかないので、指定管理を委託されている役場さんがどう考えるかだと私は思います。もし拡充できたとすれば、間に合うだけの人員はおりますので、そんなに経費はかけないでできると思います。
- 委 員 申請書の中の8、9ページで、施設の特性と課題を踏まえた維持管理ということで、8ページには課題がいろいろ書かれています。8ページの5の「1）牛舎等建物の老朽化が進んでおり、預託牛や作業員の事故が以前に比べ増加している」とありますがこれはどのような状況でしょうか。
- 申請者 現在稼働率が100%ですが、去年、一昨年とその前と100%を超えて入れていたときに、老朽化で使用していなかった牛舎を使用せざるをえない状況になり、育成牛をそこへ入れました。牛舎が古いことによって、あちらこちらの鉄の部分が錆びて足を傷つけたり、牛が木などが腐っているところに入ってしまったりと、という事故がありました。
- 委 員 同様に「2）利益を生まない施設への維持管理費用が発生している」とは、どの

ような状況でしょうか。

- 申請者 使えない施設がそのまま残っており、それを放っておくわけにもいかず、壊れている物、例えば台風でめくれた屋根などが飛んでこないようにするため、お金をかけて修理をしなければならないということです。
- 委員 8ページにたくさん課題が記載されており、それを受けて9ページに指定管理の方で提案されるなど、町との更新計画もとありますが、そういったことも踏まえて、最大限入れられる頭数は先ほど言った頭数でしょうか。
- 申請者 はい。1点申し添えれば、従来の牛舎を使っているところもございます。それと施設が点在しているので、作業効率が非常に悪いです。もう少し集約的な建て方をしないといけないということは、利用者の方からも指摘を受けております。
- 委員 事業計画書の3ページ、「2) 限られた人員・施設下での酪農家の利益の最大限を各々の酪農家とともに目指す」とありますが、この酪農家という表現は何か具体的なものを想定しているのですか。
- 申請者 もともと酪農家とともにある施設ですので、私の理想は、酪農家さんに「模範牧場を使っているからうちの経営がいい」といってほしいのです。酪農家さんに利益が出るから僕らも使っていただける、そしてそこで最大限の効果を出して、それによって酪農家さんの経営も良くなるということを目指しているということです。
- 委員 7ページ、施設の役割についての(3)地域への貢献に「1) 今まで臨時雇用だった職員を無期限雇用に切り替えている」とありますが、これは人材確保の難しさがあったのでしょうか。
- 申請者 長く弊社にいてくれた方がそのままいてくれた方が、技術的な面も持続・継承できますし、今年が伸びている中で、そのまま働いてもらうことで今のところは人材的に不足なく行えているということです。
- 委員 全体の方の損益計算書を拝見しましたが、平成29年が大幅にマイナスになっているんですね。このマイナスを解消するのは何年後くらいですか。
- 申請者 これを完全に解消できるのは4年くらいです。
- 委員 長期借入金の完済時期はいつごろですか。
- 申請者 最初の分は来年度終わります。搾乳の方は新たなものなので5年後になります。
- 委員 事業計画書の5ページ、利用者のサービス提供(3)にいろいろな聞き取りとか、原則年1回利用者との面談を行い、電子メールでの受付をずっとやられているということですが、電子メールについては、この8年間でどれくらいの件数、どのような内容だったか教えていただけますか。
- 申請者 電子メールについては、残念ながら1件もないです。年1回の面談の内容については、担当の方からご報告させていただいております。ご利用いただいている方を全戸回り、いろいろな要望やご意見を伺い、担当課の方に提出しています。
- 委員 苦情で具体的にはどういったものがありますか。
- 申請者 とまりが悪いということを言われます。とまりが悪いのは、農家さんにもご理解

いただいていると思いますが、それはいろいろな要素がありますので、ただとまらない牛はどうしたら良いのかということで一步踏み込んでやってほしいということだと解釈してやっております。

- 委員長 実績に関して、平成29年においては、970万円近くマイナスになっていますが、要因は何が考えられますか。
- 申請者 結論から言いますと、購入飼料が増えたことによります。配合飼料などは当然追加飼料としていつも与えていますが、粗飼料のサイレージや、牧草関係が前年の種の影響で収量が落ちまして、頭数が多かったのもあり、買わなくてはいけなくなりました。自分のところの牧草でやれば何とか経営していけることにはなっているのですが、買った草では全然合わないため、それが一番の原因となっています。
- 委員長 実際に採草地や放牧地において前年の台風の影響があったと。強い草地を作るという意味では、還元的な農法でやるということだったと思いますが、それでは対応しきれないような台風があったという意味合いですか。
- 申請者 はい。
- 委員長 他に質問されたいことはございませんか。それでは、まだ若干時間はございますが、終了させていただきます。株式会社希興の皆様には、大変お忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。

### ■議題（3）評価及び指定管理者候補者の選定

- 事務局 （評価方法について説明）
- 委員長 それでは、審査を行います。  
(審査表へ評価を記入・提出)
- 委員長 集計結果に誤り等はございませんか。それでは、集計結果を確定させます。  
選定委員皆さんの評価点の合計について、株式会社希興が1,691点であります。最低基準である1,500点を超えていますので、株式会社希興を指定管理者の候補者として選定します。

### ■閉会

- 委員長 選定委員の皆様方にはご多忙の中、計2回の選定委員会にご出席を賜り、心から厚くお礼を申し上げます。今後、本日の結果を町長に具申致しまして、2月に開会される町議会臨時会へ提案、議決を経て、指定管理者として最終決定されます。委員の皆様方からいただきましたご意見・ご提言につきましては、今後の施設の管理運営に反映できるよう努めてまいりたいと考えております。皆様方、本当に長時間にわたりましてありがとうございました。以上をもちまして、選定委員会を終了させていただきます。